

謎解きイベントに魅せられて

加 曾 利 正 典 (春秋会)

1. 謎解きイベントとの出会い

大人になってからハマった趣味の一つに、「謎解き」があります。昔からパズルやクイズなどに興味はあったのですが、最近では、かなり大がかりな謎解きイベントが開催されており、より深みにハマってしまいました。

このような大がかりな謎解きイベントに最初に参加したのが、2012年3月26日、お台場にあるZepp東京で行われた「月面基地からの脱出」というイベントでした。このイベントは、「リアル脱出ゲーム」(登録商標)という謎解きを企画運営するSCRAPという団体(会社)が主催するもので、1時間以内に、様々な謎や暗号を解き明かして最終目標を達成するという形式の謎解きでした。また、このイベントはマンガ「宇宙兄弟」とコラボしたもので「月面基地で生き残る」という最終目標が設定され、宇宙兄弟の世界観に浸りながら楽しめるものでした。このイベントの参加によって、謎解きの面白さにハマり、現在に至っています。



2. 謎解きイベントの種類

一言に「謎解きイベント」と言っても、最近では、沢山の種類のイベントが企画されており、以下のように大別されます。

(1) 周遊型

ショッピングモールや屋外など、広い場所を使っ

て行われるイベントで、種類によっては、鉄道やバスなどを乗り継いで行われる場合もあります。このようなイベントは全国各地で実施されているため、目にされたことのある方も多いのではないのでしょうか。ウォークラリーに近い形態ですが、多くの場合、最初に配られる用紙や冊子の謎を解いて、次に行くべき場所を探していき、最終目標(最終地点の発見、キーワードの解読、など)を達成するものです。時間や参加人数に縛りが無い場合がほとんどで、無料で実施されることも多いイベントなので、ご家族でのお出かけや、デートでの利用にもってこいです。私が印象に残っている周遊型謎解きは、大阪城で行われたイベントでした。



(2) 密室型

文字通り、物理的に部屋に閉じ込められ、謎を解き明かして脱出するための鍵(鍵の解除コードなど)を探していくイベントです。「脱出ゲーム」とも



言われます。一般に、制限時間内に数人で協力して謎解きを行うため、ドキドキ感を一番味わえるイベントです。実際に閉じ込められるという非日常的な体験は、大人でもかなりテンションが上がります。最初に参加した「ある牢獄からの脱出」というイベントは、今でも鮮明に記憶しています。

(3) テーブル型

倫理研修のように、室内で1つのテーブルを4～6人で囲み、協力して謎を解くタイプのイベントです。時間制限もあって少々難しめのイベントですが、いろんな映画やマンガとのコラボもあるので、そのスピンオフと考えるとファンにはたまらないイベントだったりします。今テレビでよく見かける松丸亮吾君も、過去には多くのイベントを手掛けていたので、近くに感じられたイベントも結構多かったです。



左から2番目が松丸君。

(4) 大会場型

決められた範囲の広い会場内を歩き回るタイプのイベントです。周遊型に近いですが、時間制限があり、普段は入れない場所で行われることが多いイベントです。個人的には一番テンションの上がるイベントで、過去には、東京ドームやさいたまメットラ



必死で解いています。

イフドーム、大井競馬場や幕張メッセなどのイベントに参加しました。特に思い出に残っているのは、閉園後の夜の遊園地を貸し切って行われたイベントです。イベントに合わせて四人の仮装をして参加したのがいい思い出です。

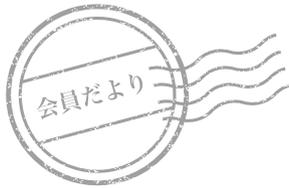
(5) オンライン型

このコロナ禍で増えてきているのがオンライン型のイベントです。一人で楽しめるものから、Zoom等のツールを使って複数人で楽しめるものまで様々です。直近では映画「サマーウォーズ」とコラボした謎解きイベントに参加しました。モニター越しに「よろしくおねがいします！」と叫んだことはここだけの秘密です。



3. 最後に

謎解き好きな人たちのことを、よく「クラスタ」と言ったりします。近年のコロナの影響で悪いイメージしかないワードですが、このワードに反応された方、是非ご一報ください(笑)。



サッカー

猿山純平 (春秋会)

人生において、仕事以外の時間の過ごし方は非常に重要であるが、私は基本的に根があまり明るいタイプではなく、自宅で酒をのみ、ゲームをし、漫画を読み、寝たいときに寝ることが何より好きな性格なため、休日に外に出ることはあまり好きではない。コロナ禍で飲み会自体減り、今後はより一層外に出ることが減るだろう。

しかし、唯一と言ってもいいアウトドアな趣味がサッカーであり、小学校1年生のときに始めて25年以上、現在も東京都某区のリーグの社会人チームに所属して、月に一度か二度プレーをしている。

「サッカーをやっている」と言ってもよく聞かれるのが「フットサルではないの?」ということであるが、サッカーである。フットサルはサッカーに比べて簡単にプレーすることができ、チームに所属していなくても、「個サル」と呼ばれる個人参加型のフットサルに参加することで、一人でも参加して楽しむことができる。何より、ビルの屋上でもフットサル場があるように、都心でも気軽にプレーすることができる。実際に私もフットサルはやるし、友人と大会に出ることも、個サルに参加することもある。しかし、サッカーである。私はあえてチームに所属していなければほとんど参加することができない、11人制のサッカーを好んでいる。それは、自分にテクニックがなく、フットサルだと通常ファウルになってしまうようなプレーが得意ということもあるが、何より広いコートで開放的なサッカーが好きなのである。

コロナ禍においても、屋外スポーツであまり密にならないということもあり、一度目の緊急事態宣言以降は通常通りサッカーを行うことができている。貴重な休日の半日を消費することになるのであるが、毎回快く行かせてくれる妻には感謝しかない(な

お、妻はサッカー好きではないので、プレーしているところを見に来たことは一度もないし、私自身、見て欲しいとも思わない)。

小学校1年から今もサッカーをやっているということは、さぞかし優秀な経歴を持っているのかと思う方もいるかもしれないが、小学校は地元の少年サッカークラブ、中学高校は部活、大学はサークル、現在は東京都某区のリーグに所属のチームと、Jリーグのユース出身ということもなければ、インターハイや高校サッカー選手権、大学インカレに出場したことがあるというような自慢できる実績もなく、記憶が正しければ最高成績は高校時代に千葉県でベスト8。千葉県は全国でも屈指の激戦区であり、聞く人が聞けばそれなりの成績だが、客観的に見ればサッカー好き以外にはあえて人に言うこともないような、中途半端な成績である。個人としても、国体選手ということももちろん有るわけもなく、強いて挙げれば小学校の地域選抜や大学のサークル選抜に何度か選ばれた程度である。もっと言えば、中学校はスタメンですらない。

そんな特筆すべき経歴が一切ない私であるが、実際に30代半ばになるまでサッカーを続けられていることは、自分で自分のことを褒めてあげられる、数少ない点である。もっと誇れるような実績や肩書きがあればなお良かったのだが、高望みである。

実際上には上がいる。大学時代、Jリーグのユースチーム出身で、怪我さえなければプロに上がった友人がクラスメートにいたが、その友人にして「次元が違う」と言わせる選手が一学年上にいた。その選手は後に日本代表でもプレーし、イタリア・セリアAのインテル・ミラノといった世界でもトップクラスのチームでも主力として活躍した長友選手であったため、その友人からしたら次元が違うのかも

しれないが、私からしたらその友人が既に次元が違う選手である。そのような選手でもプロになれるものではなく、また、プロになっても大成できない選手もたくさんいるのであるから、上を見たらキリがない。そのため、大きな怪我もなく現在も楽しくプレーできているだけで幸せと思うべきである。

ただ、趣味とは言いつつ、社会人リーグでプレーしている以上、不安もつきまとう。その最たる例が、「いつまでプレーし続けることができるのか」という問題だが、それはやはり年齢である。

特許事務所では、30代は一般企業の認識よりも若手と捉えられる風潮があり、20代については、令和元年度の弁理士試験の平均合格者の平均年齢が37.8歳というデータからもわかる通り、あまり見ることがない。

一方で、サッカーのような体がぶつかり合うことも普通にある激しいスポーツでは当然に若い方が有利であり、自分のチームメイトや対戦相手には20代がたくさんいるし、中には10代もいる。所属している社会人リーグはあくまでも区リーグのため、私のような30代も多くいるが、40代や50代は非常に少ない。

年齢が若い方が有利な理由について、多くの方は「20代の方が上の世代よりも動ける」とお考えになると思うが、実際にその通りで、20代の方がとにかく動ける、早い、体にキレがある。試合で相手をしていても、わかっていても止められず、「昔なら楽に止められていた」と心の中で嘆くのである。特に、近年では「デュエル」と呼ばれる場面で一歩足が出ない、コンマ1秒どころかコンマ5秒くらい反応が遅れるといった致命的な問題もあり、年に何度も、どころか、毎試合何度も「衰えたな・・・」と感じることがある。

毎日とは言わなくとも、週に数回適切にトレーニングを行い、ランニングをしていれば所属している社会人リーグのレベルであれば、今のレベルを維持はできるのだと思うが、プロサッカー選手と違い、あくまでもサッカーは「趣味」のため、優先すべきことは違う。今は妻も快く送り出してくれているが、これ以上、休日に半日家を空ける趣味に走ると何を言われてもおかしくはないため、このような

事情も含めて「衰えたな・・・」と感じざるを得ないのである。

しかし、若ければ回復が早く、また、怪我もしにくいということは事実だが、「怪我をしない」という訳ではない。私の場合、24歳から26歳までの3年間、弁理士試験の勉強をしていたが、その間は高校のチームメイトと年2回、7人制サッカーの大会合宿に行っていた他、時々おこなうランニング以外は運動していなかった。そして、弁理士試験終了後、サッカーを再開した際には、体のさび付きが酷く、捻挫や肉離れなど、頻繁に怪我をした。

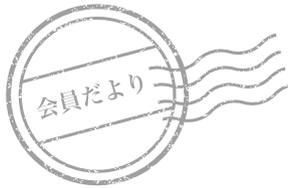
そこから、体へのケアとしてストレッチを入念に行うようになり、それ以降は怪我をすることもなくなったが、以前から仲良くして頂いている弁理士から、「40代で大きな怪我をする可能性が増すから気を付けろ」との助言頂いたこともあるので、より一層体へのケアには気を付けなければならないと思っている。

と、何一つ面白みのないことを述べてきたが、こんなことをぐだぐだ書けるのは、サッカーが楽しくて仕方がないからである。

ただ、20代に混じってサッカーを続けられるレベルではなくなった後の趣味をどうするか？という問題も存在している。20代のときから懸念していたことで、30代半ばという年齢になったこともあり、現実的な問題として近付いているが、元々好奇心旺盛なタイプでもなく、ゴルフも時々誘われているが、あまり乗り気ではない。

自分の動ける範囲でサッカーを続けることもいいが（実際、40代以上限定のシルバーリーグもある）、現実的には、体力的に厳しくなった後でもできる、体を使った、そして理想を言えば金の掛からない趣味は何かしら必要と考えているし、それが何かはわからないが、今後は折を見て探していきたい。

仕事も人生における重要な要素であることは否定しないが、やはりプライベートを充実させることはそれ以上に重要な要素であるため、生活がもう少し落ち着いたら、ゆっくり考えたい（いつ落ち着くかは不明だが・・・）。



タコ釣りの魅力

三田大智 (稲門弁理士クラブ)

1. 江戸前ダコ

皆様は「江戸前ダコ」をご存知でしょうか。文字通り、東京湾で捕獲された真蛸のことです。東京湾で真蛸が獲れること自体、一般的にあまり知られてないようですが、江戸時代の東京湾の様子を描いた錦絵（潮干狩 歌川豊国（三代目）画など）で真蛸が描かれており、少なくとも江戸時代から東京湾にいるようです。江戸前ダコは、弾力がありながら柔らかく、しかも味が濃い。当然、高級ダコとして知られていて、聞くところによれば1kg当たり5,000円程度で取り引きされているようです。市場にはあまり出回らず、お寿司屋さんや小料理屋さん、直接、漁師から買う場合も多いようです。さらには、漁師から手に入れるのも難しいときは、私のような一般人に「タコ釣れたら買い取るから持ってきてよ」と言ってくるお寿司屋さんの大將もいます。

2. タコ釣りブーム

貴重な高級ダコである江戸前ダコが自分たちで釣れるとあって、近年東京湾でタコ釣りが流行っています。毎年6月1日が東京湾のタコ釣りの解禁日です。たくさん釣れるベストシーズンは6～8月で、9月から年末にかけては釣れる数は少ないものの大きなタコ（2～3kgくらい）が釣れる確率が高まります。

タコ釣りとなると、多くの方が「海底に蛸壺を沈めてタコを獲ること」をイメージされるのですが、実際には、釣り船から釣り竿とタコエギというエビに似せた擬似餌を使って釣ります。タコエギを海底でゆらゆらと動かしていると、これを餌と思ったタコがガバッと覆い被さってきます。その時にタコエギを素早く持ち上げると、タコエギに付いている針

がタコの体の一部に刺さりますので、そのまま釣り上げます。

3. タコ釣りの魅力 ～その1～ タコエギ

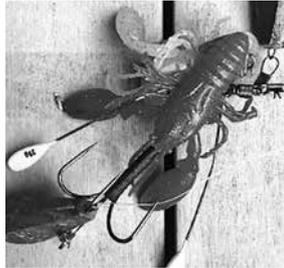
タコ釣りの魅力の一つ目は、タコエギ（エビ形の擬似餌）です。

タコエギには、いろんな種類があり、色や形、構造などさまざまなものがあります。また、タコは聴覚によっても餌を探しているらしいので、タコエギは揺らすと音が出るようになっています。赤ちゃんのガラガラのような音になるものが一番多いようですが、クラッカーのようなカチカチという音になるものもあります。

その日の天候や海の濁り具合、タコのいる場所によって、どのタコエギを使えば釣れるのかが変わるわけですが、本物のエビのようなりアルな色合いのタコエギの方がタコが狙ってくるのかと思いきや、自然界ではあり得ない蛍光イエローや蛍光ピンクのタコエギでヒット連発だったり、ゴールドやシルバーのほんぼりがピカピカと光を反射させるタコエギでよく連れたり、と奥が深いです（単に派手で目立てばタコの目につくのかもかもしれませんが）。

自分が選択したタコエギでタコが釣れたときの喜びはもちろんですが、どのタコエギが適しているか、いろんなタコエギを試しながら釣りを行うのもまた一興です。また、釣りに備えて、釣具屋を巡ってタコエギを揃えているときが一番楽しいという人もいます。

さらには、タコエギにザリガニ形のグミ（アミノ酸含有）を背負わせたり、豚バラ肉や鳥皮を巻きつけたり、アミノ酸絡みの仕掛けで良く釣れるときがあります。タコって海にいない食べ物でも狙ってくるなんて、好奇心があるというか、肉食獣というか、不思議な生き物です。



4. タコ釣りの魅力 ~その2~ 感触

タコ釣りの魅力の二つ目は、釣れた時の感触です。

タコエギにタコが乗ったかと思っ、リールを巻き上げたり、竿先をあげたりしてもびくともしないことが多々あります。根がかり（海底の岩などに針やオモリが引っかかってとれなくなる）かなと思っ、落ち込みながらも、諦めずにリールを巻いたり、竿先をあげたりしていると、そのうち、メリメリッ、バリバリバリッと、タコを引っ剥がす感触が得られ、勝利を確信します。この瞬間を経験すると、病みつきになります。

そして、海水面にタコの姿が現れたときには、大きいタコほど足を広げ、花のように見えて綺麗です。この瞬間も良いものです。

ちなみに、釣れたタコは、チャック付きの洗濯ネットに入れてから、クーラーボックスに入れます。このようにしないと、タコがいろんなところに張り付いて逃げようとしますし、ちょっとした隙間から逃げようとするからです。小指の太さほど隙間があれば、2~3kgの大きなタコでも抜け出しますから、チャックをしっかりと閉めることが重要です。



5. タコ釣りの魅力 ~その3~ 食べること

タコ釣りの魅力の三つ目は、やはり、食べることです。

タコぶつなど、生で食べる以外では、茹でてから調理するのですが、この茹でるときに、まず楽しみがあります。お湯にタコを足先から順に入れていくと、徐々に足がカールしていき、最終的には、写真に示すように、綺麗にカールして茹で上がります。このパフォーマンスと足が綺麗にカールしたビジュアルは、子供をはじめ、家族に大ウケ。他の魚介類ではこうはいきません。

タコ料理としては、茹でただけで既にすごく美味しいのですが、唐揚げ、たこ焼き、たこ飯、カルパッチョ、アヒージョ、づけ、おでんといろんな料理で最高の味を醸し出します。特に、おでんでは、トロトロに柔らかくなったタコ足が楽しめ、至福の時を経験できます。

また、食べきれないときには、そのままビニール袋に入れて、簡単に冷凍できると共に、解凍して食べても冷凍前とおいしさが変わらないところも、タコの魅力です。

冷凍したタコはそのまま手土産として持って行っても大変喜ばれます。おそらく、もらう方も、いつ食べても良い気軽さと調理のしやすさから、もらいやすいのだと思います。

とにかく、一度、江戸前ダコを食べてしまうと、スーパーなどで売られているモーリタニア産のタコには戻れなくなってしまいますので、ご注意ください。



6. タコ釣りの魅力 ～その4～ 自然を満喫

最後の魅力は、自然を満喫できるということです。

タコ釣りに限りませんが、船釣りは、昨年からのコロナ禍にも影響を受けず、大盛況です。日光を浴び（紫外線による消毒）、海風を受け（換気なんて不要）、みんな船から海を見つめて（向かい合うことはほほない）釣るんですから当然ですし、むしろ自然を満喫してリフレッシュでき、免疫力を高めることができることから、ますます人気が出ています。

船釣りは中年男性が多いというイメージが昔からありますが、最近は若者のグループや女性をよく見かけますし、徐々にその割合も増えている気がします。ウェアやギアもおしゃれになっています。

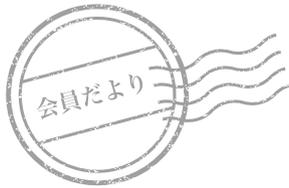
また、東京湾では、タコだけではなく、アジ、カサゴ、シロギス、タチウオなど美味しい魚もたくさん釣れます。世界的な大都市である首都圏で都会的な生活をしつつ、目の前にこのような豊富な魚介類を育む海があることは、大変貴重であると共に、非常にラッキーなことだと思います。

朝に横浜の山下公園から豪華客船の脇を通過して出船し、お昼過ぎに帰ってきて、船宿近くのイタリアン居酒屋で獲物を調理してもらい、最高におしゃれで贅沢な休日も過ごせてしまいます。

7. おわりに

以上が、私がおぼろげに思っているタコ釣りの魅力です。少しでも魅力が伝わり、興味を持っていただけましたら幸いです。

皆様も、この秋冬、来年正月のおせち料理用の江戸前ダコを狙いに、東京湾に繰り出してみてはいかがでしょうか。



子育て便利ツールの紹介

酒 迎 明 洋 (稲門弁理士クラブ)

はじめに

昨秋、40数歳にして息子が生まれ、共働きの夫婦揃って知識・経験は皆無というところから子育てが始まり早1年近くが経ちました。その間、購入したりレンタルしたりと、いろいろな子育て関連の製品・サービスのお世話になってきました。

自分の親が子育てを経験していたのは、つまり自分が子育てされていたのは40数年前。そのころと比べると当然ですが、私と同世代が子育てを経験している10年前ぐらいと比べても、ずいぶんと製品やサービスは発展しているようで、ちょっと前に同じ道を通った人が身近にいないと、周囲から最新の有益な情報を得るのは難しいように感じます。日々子育てに関わっている保健士さんやベビーシッターさんが家で使っている製品に感心する場面に接したこともあり、その発展のスピードが速いことが伺い知れます。

いわゆる「ワンオペ」だったり、核家族で共働きだったりする家庭での子育ては効率化のニーズが高く、近時は、子育てを支援するIT製品・サービス「ベビーテック」が注目されています。

最先端のベビーテックとまではいかないのですが、子育てを楽にできないかとネットで調べていろいろな製品・サービスを試してきました。その中からいくつかご紹介したいと思います。

ベビーモニター

ベビーベッドやその周辺に設置する小型のカメラと卓上に置く小型のモニターからなる製品です。最新のものはスマホをモニターにすることもでき利便性がさらに向上しています。家ではベビーベッドをリビングの隅に設置しているのですが、すぐ近くのダイニングテーブルからでも微妙に見えにくく、最初はちょっとしたことで気になって、子供がもぞもぞするたびにベッドをのぞき込みに行っていまし

た。このちょっとした移動をなんとかしたいとベビーモニター「スマ@ホームシステム」を導入、パソコンに向かっている時も視線を動かすだけでモニター越しに寝ている様子を確認できるようにしていました。慣れてくるとモニターに目をやる回数も次第に減って、結局使わなくなりましたが、子供が別の部屋で寝るようになった場合など再び使うこともあると思います。その発想に感心したのですが、ベビーモニターはZOOMで代用できるとの意見をネットで見たことがあります。



ベビーセンサー

目視で様子を確認できるベビーモニターの使用はやめたのですが、特に夜間、寝ている子供がベビーベッドで健康な状態にあるか気になり、頻繁に寝息を確認していました。寝返りをするようになってからはさらに気になってきました。ベビーセンサーは、マットレスの下部にパネルやマット形状のセンサーを配置し、体動が一定期間停止する等の異常を検知した際にアラーム音で知らせてくれるという製品です。いろいろ調べて少しお高い「ベビーセンスホーム」を購入しました。実際にアラームが鳴ったときにどう対応すればよいか心配はあるのですが、少なくとも異常を早期に発見できるという安心感で

自分もゆっくり寝ることができます。難点としては、子供が夜中目を覚まして泣いてしまった時など電源をOFFにすることを忘れて子供をベッドから抱きかかえてしまうと、センサーが体動を検知なくなっけたたましいアラーム音が鳴ってしまいます。これが非常に心臓に悪いのですが、確かに正常に動作していると安心もします。



電動鼻水吸引機

鼻水吸引機という製品を店頭で見かけて、子供は自分で鼻をかむこともすすることもできないので、鼻水を吸引してあげなければならないことを知りました。口で吸うタイプは大変という話を聞いて、半信半疑だったのですが、据え置きタイプの電動鼻水吸引機「ベビースマイル」を購入しました。子供が



保育園に行きはじめると、すぐに風邪をもらって帰るようになって、出番となりました。大きいモーター音で、ズルズルと吸引されて、子供は大泣きしますが、鼻の奥からごっそり吸引できている感じがして、子供もすっきりした表情になるので、泣いても気にせず使えるようになりました。特に、RSウイルスに感染して昼も夜も何度も鼻水吸引が必要な日が続いたときは活躍しました。怖くて自分には使ったことはありません。

電動爪やすり

子供の小さい指先の小さい爪にハサミをあてて、切りすぎないように伸びた分だけ爪を切り取る作業は繊細で、指を傷つけてしまわないかと想像しただけで不安になります。そこでハサミ以外の爪切り方法を調べて購入しました。電動爪やすりは回転する円盤状のやすりで爪を削り取るという製品で、指先に当たっても指を傷つけてしまう心配はありません。とにかく爪切りハサミを使うのを躊躇してしまう場合に大変有用なのですが、やすりで削っていくので、しっかり削ろうとすると時間がかかります。そのためか保育園から爪が長いと指摘を受けることがありました。そこで意を決して爪切りハサミでしっかりと切ることにしましたが、仕上げなど使いどころはあって、便利なことには変わりはありません。削られた爪がどこに行ってしまうのか、若干気になります。



育児記録アプリ

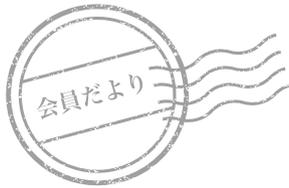
育児をサポートする便利なツールとしてよくあげられるサービスとして、育児記録を共有できる「パパッと育児」などのスマホアプリがあります。共働きの夫婦間などで育児を連携しようとする、一方がお世話をしている際の子供の睡眠、食事、排せつといった情報を随時スマホで記録して共有しておく、引継ぎが楽になって効率的です。子供が通っている保育園では、園と家庭の情報共有に冊子の育児手帳を使っているため、保育園が始まってからはアプリの使用はやめました。冊子は冊子なりの見やすさや温かみもあるのですが、アプリを使えば画像や映像など多くの情報を記録・共有できるのではと思います。保育園もIT化が待たれます。

予防接種アプリ

生後2か月ころから最短で生後8か月ぐらいまでに、インフルエンザ菌b型（Hib）3回、小児肺炎球菌3回、B型肝炎3回、4種混合3回、BCG1回、ロタウイルス2～3回と、多くの予防接種を受けさせる必要があります。それぞれの予防接種に決められた接種間隔があったり、複数種類を同時に受けさせたりも可能と、効率的に接種を進めるためのスケジュールリングの難易度は高いので、接種間隔や同時接種をチェックできるサービスを使うと非常に便利です。育児記録アプリにも予防接種スケジュール機能があたりするのですが、私は千代田区の「予防接種と育児応援ナビ」というスマホサイトを使ってスケジュールを立て、生後8か月までに5回の通院で合計15回の接種を順調に終わることができました。

おわりに

ご紹介した製品・サービス以外にも、いろいろな製品を試しました。寝かしつけを楽にできないかと電動ゆりかごをレンタルしてみましたが、子供が気に入らなかったようであまり使えませんでした。子供のミルクの飲みが悪くなったときには、きちんと成長できているのか気になりすぎて1g単位で計量できる高性能のベビースケールをレンタルしてミルクのたびに計量したりもしましたが、さすがに面倒になって使うのをやめました。失敗もありますが、自分のスタイルにピッタリきて子供にも合うものが見つかる楽しく、新たな製品サービスを求めて日々サーチをしています。



オートキャンプはじめました

北 裕 介 (南甲弁理士クラブ)

はじめに

妻と出会ってから15年、結婚前は登山に誘うと一緒に来てくれたが、結婚後は登山に誘っても一緒に来てくれなくなった。「結婚するために一緒に山についていったもん」と妻。それが本当かどうかは？だが、それからしばらく、共通のアウトドアの趣味はなかった。しかし、2年前、「オートキャンプいいね!」ということになり、久しぶりに妻と共通のアウトドアの趣味ができることになった。オートキャンプのメンバーは、私、妻に加え、長男、次男。

最近のコロナ禍もあって、オートキャンプは密を避けつつ家族で楽しむにはもってこいのイベントだ。長男、次男の小学校のイベントがことごとく中止になり、その代替イベントとしてもオートキャンプは大切なイベントだ。そんな我が家のオートキャンプについて、子供たちの成長などと絡めつつ、少しお話ししようと思う。

出発前準備

出発前の準備は、メンバー4人のうち、もっぱら私&妻の担当になる。子供たちは「オートキャンプ行くの楽しみだね!」と言いながらテレビゲームに夢中だ。キャンプを始めた頃は、何を持っていけばよいかがよくわからず、出発前準備にすごい時間がかかり、「オートキャンプの敷居は高いな」と感じた。

その後、何回かオートキャンプを経験するうちに、「持ち物リスト」をエクセルにまとめるようになった。キャンプに行くたびにこのリストを妻が更新してくれるので、最近の出発前準備はかなりスムーズになり、敷居はかなり低くなった。妻よ、ありがとう。

いざキャンプ場へ!

オートキャンプ場へ向かう車の運転は私の役目。音楽を聴きながらの長距離運転は楽しい。コロナ禍においては「県を跨ぐ移動は自粛ください」とお達しがでていたが、私が在住する県内によさげなオートキャンプ場を見つけることができなかったので、ついつい県を跨いでしまったこともあった(「密でないからいいよね」と家族で言いながら…)。

食料の買い出しのために、オートキャンプ場近くのスーパーマーケットに到着する。この買い出しもオートキャンプの醍醐味だ。スーパーマーケットでは、夕食、夕食後のスイーツ、そして朝食の買い出しをする。夕食、朝食のメニューは、妻が事前にみんなの意見を聞いて決めておいてくれるので頼もしい。買い出しで大切なことは、食材が不足しないことであり、多すぎるのは全然OKである。

お酒を飲むのは私だけなので、食材、スイーツの買い出しに気を取られ、お酒の買い出しを忘れてしまうと大変なことになる。食材、スイーツの買い出しが一段落すると、家族の前からさっと消え、お酒コーナーに向かう。お酒の買い出しで注意すべきことは、ワイン一本、ビール350ml×6本くらいを限度にすることだ。そうしないと、お酒を飲まない妻から冷ややかな目で見られてしまう。それは、私がお酒に飲まれやすいからかもしれない…。

キャンプ場に到着

チェックインの手続きを済ませ、自分たちのテントサイトに向かう。テントサイトは、約10m×10mのスペースであり、車1台の駐車スペースと大き目のテント設営スペースになる。結構広いスペースだ。

まずは、テントの設営から始める。オートキャン

ブを始めた頃は、子供たちも慣れていないため、妻と2人で設営しなければならず結構大変だった。あれから2年、子供たちも設営の戦力になるかと思いきや、まだあまり戦力にはなっていない。子供たちは、虫とりを楽しんでいる。それはそれでいいか…。

テント設営後、ハンモック、テーブルなどの周辺グッズを並べる。ハンモックを設置すると、子供たちがやってきてハンモックで揺れ始める。「ハンモックで横になりながらのジュースは最高！」と子供たち。楽しそうで何より。



～炭火係の子供たち～



～我が家のテント～

夕食作り

夕食作りは、一番好きなイベントである。なぜなら、自然の中でビールを飲みながら作業&会話できるからだ。テレビがないので、家族の会話も増える。私と妻が食材の下ごしらえをしている間に、子供たちにバーベキューコンロの炭に火をつけてもらう。2年前は上手にできなかったが、今ではかなり上手になり、炭火係を子供たちに任せられるようになった。ビールを飲みながら子供たちの成長を感じる瞬間である。

その後、子供たちにも調理を手伝ってもらう。普段はやらないフライパンを使った炒め物にも挑戦させてみる。家ではやってくれないが、キャンプ場になるとすすんで調理に挑戦してくれる。また、普段はあまり食べない野菜も食べてくれる。オートキャンプ場の雰囲気そうさせてくれるのか？だが、親としてはうれしい。

キャンプファイヤー

あたりが暗くなり、夕食も終盤にさしかかると、子供たちがすすんでキャンプファイヤーの準備を始める。子供たちは、火を使うイベントの準備が得意なようだ。きれいな夜空の下、燃えている薪をずっと見ていられる。燃えている薪を見ながらワインを楽しめるのも、キャンプファイヤーの醍醐味だ（お酒のことばかり…）。

キャンプファイヤーでは長男が仕切りたがる。燃えている薪の中に次男が新しい薪を入れようとする、「そこはだめ！こっちに入れて！」などと長男が指示する。テント設営でも仕切ってくれようになるといいな。

就寝～テントの中～

我が家の子供たちはすごく寝相が悪い。家の寝室ならまだOKだが、テントの中の狭いスペースでごろごろ動き回られると、私も妻も目が覚めてしまう。特に、夏場の寝相は最悪。なお、気温が低くなる秋のキャンプでは、布団から出ると寒いので、子供たちの寝相がよくなる。

翌朝

あたりが徐々に明るくなるに連れて、虫の鳴き声が小さくなっていく。普段では味わえないような雰囲気やテントの中で味わえるのもオートキャンプの醍醐味だ。起床時間も早くなるため、みんなで散歩をする。普段の生活では、家族みんなで散歩をした

り、散歩をしながらお話ししたりすることがないので、清々しい。

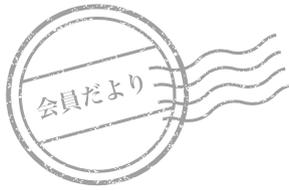
朝食の準備を子供たちが手伝ってくれる。普段は、朝食の準備中はパソコンでTVゲームの攻略法を見ているだけなので、オートキャンプにくると子供たちが成長したように感じる。

朝食が終わると、あわただしくなる。朝食後、テントの撤収をしていると、あっという間にオートキャンプ場のチェックアウト時間になってしまう。一泊二日の日程の場合、ちょっと言い過ぎだが、テントを設営して片付けに来ているだけのようにも思える。このため、これからのオートキャンプは二泊以上にしようと思う。そうすれば、中日はテントを設営したままでよいので、家族でいろんなことができそう。

おわりに

オートキャンプの一連の流れを書いただけのようなどりとめのない記事になってしまった。オートキャンプは、家族に会話の時間を与え、また、子供の成長を感じるイベントである。みなさんも、オートキャンプ始めてはいかがでしょうか？

以上



キャンプのすすめ

井出麻衣子 (南甲弁理士クラブ)

人生初のキャンプは2～3年程前。以来、すっかり虜になっている。

新潟県三条市に本社を置くアウトドア総合メーカーのスノーピーク。同社の株価は今年8月に上場来最高値を更新したようだ。ここからもわかるように、コロナ禍において、ソーシャルディスタンスを保ちつつリフレッシュできるキャンプはブームとなっている。

幼いころからキャンプには興味があったが、極度の虫嫌い、直射日光嫌い、なんとなくトイレも汚そう（潔癖症とは程遠い性格だが）、という理由から、憧れだけに止めていた。

たまたまキャンプの魅力を知り、友人に誘われ、子どもたちにとっても良い経験になるのではと意を決し、不安を抱えながら恐る恐るキャンプへの道に踏み出したのである。

しかしながら実際キャンプに行ってみると、虫より、直射日光より、キャンプの魅力が勝ってしまった。しかも、思い描いていたトイレとは異なり、綺麗。憧れだけに止めていた日々を悔いたのは言うまでもない。

キャンプの魅力はいくつもあるが、今回は上位3つをご紹介します。

1. おいしいごはんとお酒（そして雰囲気とのマリアーージュ）の魅力

正直にいうと、キャンプでの一泊は慌ただしい。前日から荷物の準備や食材の下処理をし、現地に着いたらテントを設営し、夕食の準備。朝食の準備。間もなくしてテントの片付け。そして帰

宅後も片付け…。言ってみれば、疲れにいくようなものでもある…。

しかしテント設営で渴いた喉に沁みるキンキンに冷えたビールは、広大な自然と相まって極上の味わいなのである。

そして夕食。炭火で焼いた厚切りのお肉、塩だけで溜息がでるほどのおいしさ。肉も魚も野菜も、高温の炭火で焼けば非常にジューシーに仕上がる。ここでは、フルボディの赤ワイン。収斂性のあるタンニンが肉の脂と絶妙にあう。

もちろん炊き立てのご飯に、焼き立てのパン、時には焼きそば。アヒージョ、チーズフォンデュ等々、なんでもおいしい。

最後に忘れてはいけないのが、焼き芋。じっくりと炭火で焼かれた焼き芋はホクホク甘くて思わず笑みがこぼれる。

普段より運動量の多い子どもたちも比較的すなりと寝てくれる。寝静まった後、焚べた薪を目の前に飲むワインもまた最高である。パチパチと燃える音は耳に心地よく、真っ赤に燃え上がる様も美しい。真夏でも、山の上や高原にあるキャンプ地は心地よい涼しさ。薪の暖かさが気持ちよい。そして時に満天の星々に包み込まれる。

この心地よい至福の時を少しでも長く味わいたい。

そんな思いとは裏腹に、慌ただしい日々の疲れからか、薪の前で居眠り。しかしそれもまた、至福の時なのである。

そして朝は、小鳥のさえずりを聞きながら飲むホットコーヒー。少し肌寒い朝にはスープも冷えた身体に沁みる。

キャンプからの帰宅後も、次回のキャンプでは何

を作り、何を飲もうか。考えるだけで楽しくなる。エンドレスな楽しみである。

2. 非日常の魅力

キャンプは考えることがたくさんある。

キャンプサイトは真四角の平坦な土地とは限らない。

土地が傾斜していたり、ところどころに木が生えていたり、砂利だったり、芝生だったり。

方角も異なるし、天候にも左右されやすい。

毎度同じ形状のサイトや天候とは限らないので、車の停車位置からして悩む。雨予報のときには傾斜を考えてテントを立て、方角・風向きも考える。

失敗すると、雨が流れず浸水、また西日・朝日の直撃を受けることとなる。

予想外の出来事への対処もひとつ。何でも持っているわけではないので、手持ちのもので工夫して対処する必要がある。すると、道具の思いもかけない使い道を編み出してみたりもするのである。

時間に追われてばかりの日常では、ゆっくり空を見上げ、大いに風を感じることも少ない。

便利に囲まれ、不便を感じることも少ない。

非日常に生きるキャンプでは、日常生活では使うことのない部分の脳が活性化し、そして脳全体を一旦リセットできる、そんな気がするのである。

3. 魅力的なグッズ（ギア）の数々

キャンパーは2種類に大別できるという。

一つは、便利なギアを増やし如何に不便なく快適に楽しむかを追求する派。もう一方は、最小限のギアで不便を楽しむ派。

私は前述のとおり、最小限のギアで不便を楽しむ派である。単に車が小型ということもあるが。

最小限のギアだからこそ、より高性能でコンパクトなものを揃えたくてしまう。そして新しいギアを手に入れたら、キャンプ地で試してみたい。こうして沼への入り口が開かれ、私もすっかり沼の住人である。

ここでいくつか必携かつお気に入りのギアを紹介したい。

<メスティン>

メスティンとは、アルミ製の飯盒のことである。炊飯はもちろんのこと、パンも焼くことができる。揚・焼・煮・蒸・燻、すべてに対応できるマルチなクッカーである。

程よく密閉してくれるので、パンも二次発酵から焼成までメスティン一つで対応可能である。また、チップを燻せばスモーク料理も簡単。メスティンにより、料理の幅が格段に広がった。次は揚げ物に挑戦したいと考えているところである。



「メスティンで二次発酵～焼成まで行った焼きたてのパン」

<ガスバーナー>

キャンプでは炭火ですべて調理していると思われるかもしれないが、幅広い料理を楽しみたいのであれば、ガスバーナーがお勧めである。やはり火加減の調整も容易で、雨の日でもタープの下で使用できるため、一つあると安心である。

ガスコンロにも様々なタイプがあり、カセットコンロはもちろんのこと、高火力のツーバーナー（二口タイプ）などもある。

私が愛用しているのは、ガス管と五徳とが分離しているタイプ。五徳部分は折りたたみ可能であり、

収納時はマグカップ程度の大きさである。

この無駄を極限まで排した構造とそのデザインは見とれてしまうほどの美しさであり、キャンプ地での調理をますます楽しいものにしてきていることは言うまでもない。



「愛用中のガスバーナー」

<マットレス>

芝生ならよいが、砂利の場合、テント内にやや厚手のインナーマットをひいても、なかなか寝るに堪えない。そこで使用するのがロータイプな簡易ベッド（コット）またはマットレスである。

コットは地面からの距離があるため、底冷えを防いでくれるらしい。しかも、荷物置きやベンチとしても使える優れもの。しかし、如何せん場所をとるのだ。

コンパクトさを求める私が愛用しているのは、エアタイプのマットレス。

収納時はB5サイズと非常にコンパクトだが、エアを入れれば厚みは7センチとふかふか。そして枕部分までついている。

しかも、ものの30秒で5歳児でさえも膨らませることができる。なかなかの優れものである。

最後に

コロナ以前は、キャンプの前後で味わうご当地グルメも楽しみの一つとしていた。

千葉県勝浦市では勝浦タンタンメンに魚介、長野県では蕎麦とおやき、群馬では水沢うどん、栃木県

では佐野ラーメンにかき氷、山梨ではほうとうと私の趣味に付き合わせてワイナリー巡り等々。

そして虫捕りはもちろんのこと、アスレチックや釣りなどのアクティビティに牧場や滝巡りなど、自然に近いキャンプ場だからこそ楽しめる観光も盛りだくさんであり、それもまた楽しみであった。

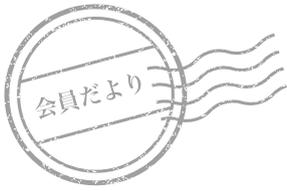
昨今、なかなか県外への移動は難しい状況が続いている。

巣ごもりが続く状況の中、まずはキャンプギアをご自宅で楽しんでみてはいかがだろうか。ガスバーナーを使ってメスティンで炊飯したり、おかずを作ったり。そしてそれをシェラカップでいただく。エアーマットと寝袋で寝てみても面白い。

それだけでも少しは非日常を感じ、リフレッシュできるのではないかと思う。しかもキャンプギアは有事にも役に立つ。一石二鳥である。



「キャンプサイトの様子」



糸魚川への遥かなる鉄道の旅

篠田卓宏 (PA会)

まだ新型コロナが始まる前の平成29年6月17日の朝、その鉄道の旅は始まりました。

私達は、その日の夕方から糸魚川で開かれる日本弁理士クラブの旅行会に参加すべく、在来線のみで糸魚川の姫川駅を目指したのです。

1. 8:19品川駅発、快速アーバン高崎行

先程「私達は、」と申し上げましたが、この糸魚川への旅を一緒にしてくれたのは、渡邊伸一先生。

先頭15号車中央付近のボックス席に、東京駅から合流してくださいました。

ここから約7時間にわたる鉄道の旅が幕を開けます。



高崎を出発すると、渋川駅に近づく辺りから、右側に遠くの山々を眺めることができました。

渋川駅に着くと、2つ向こうのホームにSL機関車が。

2. 10:24高崎駅発、上越線水上行

品川から乗った電車は、10:15に高崎駅に到着。

そこには懐かしさを感じさせる上越線の車両(115系湘南色)が待っていました。良い旅になるようにとの願掛けの意味もあり、いつものように、乗車する列車の写真を撮影。



沼田市に入ると、右側の車窓に水のきれいな美しい川が現れました。利根川（上流）です。



渡邊伸一先生もご満悦。



水上駅には、11:28に到着。そろそろお昼。

しかし、ここで駅弁を探すも、駅に弁当は売っておらず、あきらめて次のチャンスを窺うことに。

3. 11:40水上駅発、上越線長岡行

水上駅のホームに降りると、そこには3種類の車両が並んでいるのではないかと、思わず撮影。



水上駅を出発すると、程なく湯桧曾（ゆびそ）駅に到着。

続いて、11:48土合（どあい）駅に到着。これらの駅はいずれもトンネルの中にあるため、駅のホームは暗めです。土合駅で降り、地上に登ると、谷川岳ロープウェイの乗り場に行くことができるので、そのせいもあるのか多くの登山客がホームに降りていきました。



12:05に越後中里駅を出発すると、右側にブルートレインの客車が！思わずシャッターを切りました。後で調べたところ、この車両は、かつて国鉄時代に使用されていたものが、湯沢中里スキー場の休憩所として、そのまま利用されているものでした。



12:36に六日町駅に到着。ここでも駅弁は売っておらず、我々のお昼ご飯は直江津駅に賭けることに。

4. 12:44六日町駅発、北越急行ほくほく線直江津行

ほくほく線のホームに行くと、2両編成の電車が待っていました。乗ってみたところ、単線。

単線ですが、速い！調べたところ、このHK100型電車は、最高運転速度がなんと時速110kmとのこと。どおりで速く感じたわけです。



犀潟（さいがた）駅に近づくと、新潟らしい米どころの景色が。

その景色をバックに、一枚撮影。



直江津駅には、13:46に到着。ここでようやく駅弁を買うことができ、全国第1号地ビールの「エチゴビール」で乾杯して、次の電車の時間になるまで、いなり寿司と、するめの天ぷら「する天」を堪能。



5. 14:29 直江津駅発、えちごトキめき鉄道日本海ひすいライン泊行

直江津駅からは、日本海の近くを走る一両編成のET122形気動車に乗車。2つ目の有間川（ありまがわ）駅では、右側に美しい日本海を眺められます。



6. 15:14 糸魚川駅発、大糸線南小谷行

糸魚川駅からは、ワンマン運転のキハ120形300番台に一駅だけ乗車。

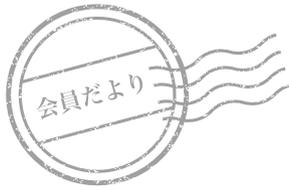
そして15:18、旅行会が開催されるホテルの最寄り駅、姫川駅に到着しました。



渡邊伸一先生、約7時間にわたる糸魚川への鉄道の旅、ありがとうございました。



そして、日弁の旅行会を再びリアルで開催できるようになる日を心より楽しみにしております。

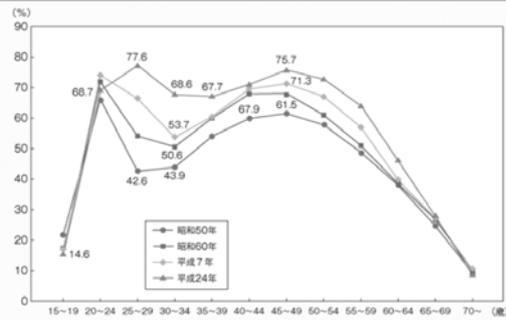


寄り道ばかりして きたけれど

高坂 晶子 (PA会)

皆さんは、「M字カーブ」という言葉をご存じでしょうか。これは、日本の女性の就業状況をグラフ化した際に表れる、アルファベットの「M」の形に似た曲線のことを言います。日本では、結婚や出産を機にいったん離職し、育児が一段落した40代前後に働きだす女性が多く、グラフ上の曲線も、一般的な子育て期である30代がへこんで「M」になることが知られており、日本女性の働き方の特徴を表しているともいわれています。

第1-2-1図 女性の年齢階級別労働力率の推移



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。
2. 「労働力率」は、15歳以上人口に占める労働力人口(就業者+完全失業者)の割合。

出典元：『内閣府男女共同参画局』女性の年齢階級別労働力率の推移

かく言う私も、出産のため仕事を辞めて専業主婦となった後、ひよんなことから社会復帰しています。その点では、個人的な労働力もちょうど「M字カーブ」。しかも、前職は、知財とは無関係の仕事でした。その頃の自分に、「将来は『弁理士』になってるよ。」と言うことができたなら、「え？ “ベンリシ” って何？」という反応が返ってくることも間違いなしです。

キャリアについての明確なビジョンも持たず、行き当たりばったりであちこち寄り道してきましたが、振り返ってみると、「もしかしてターニングポイントだったかも。」と思いがたつきごとがいくつかあります。あまりの計画性のなさを笑われてしまうかもしれませんが、恥を忍んで少しお話したいと思います。

「飛んでイスタンブール」？

大学では英語学を専攻し、卒業後は、大手通信会社で国際電話のオペレーターとして働いていました。当時は、「国際オペレーター通話」といって、オペレーター(生身の人間)が24時間日本語で海外からの通話をつないでくれる、というサービスがあったのです(ちなみに、このサービスは2010年に終了しています)。当然、勤務は三交代制で、深夜勤務も早朝勤務もありました。

世界中のお客様や各国オペレーターとのコミュニケーションのため、英語はもちろん、中国語や韓国語なども飛び交う、「世界の声の交差点」ともいえる職場はエキサイティングで楽しかったのですが、その一方で、総合職として入社した同期がトレーニーとして海外研修に行くのを見て(その頃は、幹部候補としての『総合職』と、補助的業務を行う『一般職』という区分けがあり、オペレーターは『一般職』でした)、羨ましく思ったりもしていました。

そんな私の胸の内を知ってか知らずか、あるとき、同じ電話センターに勤める同期の友人が、「ねえ、見て。」と1枚のリーフレットをくれました。見ると、「外務省派遣員募集」とあります。外務省のお墨付きで、海外の日本国大使館や総領事館で働けるようです。おもしろそう!!あ、でも選抜試験があるのか。しかも二次試験まで!—でも、まあ、モノは試し、と軽い気持ちで応募したところ、なんと試験に通ってしまい、大慌て。

しかも、英語で受験した私ははっきり英語圏に派遣されるものと思いきや、いざ蓋を開けてみれば、赴任先は「在イスタンブール日本国総領事館」。最初に電話で連絡があったときは、頭が真っ白になり、思わず「イスタンブール…ってどこですか?」と訊いてしまったほどです。

こんなふうにして、ヨーロッパと西アジアにまたがる国、トルコでの生活が始まりました。

その頃は直行便がなく、フランクフルト経由で17時間以上かけてやっと到着。その日の夜には、お約束通り(?) さっそくお腹を壊して初日から欠勤、という冴えないスタート。通じると聞いていた英語は街中では全く役に立たず、片言のトルコ語で右往左往。坂道の多いイスタンブールで、ペーパードライバーの私が前任者から引き継いだのはマニュアル車、という想像以上のハードランディング。唯一の救いは、トルコが世界でも有数の親日国で、日本人にとっては非常に居心地の良い国だったことでしょうか。

2年目には、偶然にも、当時のボーイフレンド(今の夫)がジュネーブにトレーニーとして赴任してきて、行動範囲が一気に広がりました(派遣員が日本へ帰国するのは年に1回までと厳しく制限されていましたが、トルコから近いヨーロッパへ行くことについては特に制約がなかったのです)。そして、なんとか2年半の任期を終えて帰国。

その後、今度は、渋谷区にある「トルコ共和国大使館」で、大使秘書として数年間勤務していましたが、妊娠がわかり産休を申し出ました。しかし、所詮は小規模な在外公館の現地職員という立場です。産休制度などなく、大使に直談判するもあえなく却下。

もともと、どちらかといえばマイペースな私は、(あまり大きな声では言えませんが)「秘書」という仕事を実はあまり好きになれなかったこともあり、正直それほど未練もなく、「それじゃあ」という感じであっさり退職してしまいました。

あるママ友の一言で

退職後は、長女に続いて次女も誕生。育児に翻弄されつつも、平穏な専業主婦生活を送っていました。子どもたちもすくすくと成長し、長女が来年から幼稚園という年齢になった頃のことです。

長女を通わせていたスイミングスクールの見学中、たまたま隣にいたママ友に、何の気なしに「幼稚園、どこにするの?」と話しかけました。すると、返ってきたのは、「うちは保育園に入りたいんだ

よね。」という思いがけない言葉。これを聞いて、私の中の何かが小さく反応しました。「そうか、その手があったか!」

目の前の日常ばかりに気を取られて忘れかけていましたが、「私、働きたかったんだ。」とはっきり自覚した瞬間でした。

そうと決まったら、行動あるのみ。求人広告を眺めては手当たり次第に履歴書を送る日々が始まりました。しかし、いったん社会のルールから外れ、ブランクは3年以上、これといった資格もなく、しかも小さな子どもを抱えた専業主婦にすぐに働き口が見つかるわけもなく、就職活動は難航。悪戦苦闘の末、やっとご縁をいただけたのが、小さな特許翻訳会社での「翻訳チェッカー」というパートの仕事でした。

喜んだのも束の間、まず頭を抱えたのが子どもたちの預け先です。翌年度分の公立保育園の募集は既に終了していたため、民間の託児所を探し回ってなんとか確保。私のお給料よりも高い保育料には夫婦で目をつぶりました。

しかし、いざ仕事が始まってみると、初めて目にする「特許明細書」というなんだか得体の知れない怪文書(!)を前に呆然とし、その上技術内容もよくわからず、なけなしの英語力だけを頼みの綱にやみくもにチェックするも、あろうことか元の訳文を改悪してしまい、先輩翻訳者の大目玉を食らったことも。それでも図太く続けていたら、数年後には翻訳者としてなんとか仕事ができるようになりました。

そうなる、何となく欲が出てくるもの。「明細書」というものを実際に書いている人たちの近くで仕事がしたくなって、今の事務所に特許翻訳者として転職しました。翻訳の仕事をするうち、「知財法を体系的に勉強してみたい」と一念発起。2018年に弁理士試験に合格して、今に至ります。

「M字カーブ」も悪くない!?

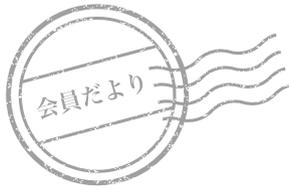
女性の社会進出の遅れや、仕事と育児の両立支援の乏しさと結びつけられて、比較的ネガティブな対象として語られることの多い「M字カーブ」ですが(ちなみに、この傾向は、日本と韓国を除けば、他

の先進国では見られないそうです)、個人的には(勝手な解釈ですが)、専業主婦になったのも悪いことばかりではなかったと思っています。もし新卒での仕事をずっと続けていたら、きっと、弁理士はおろか、知財業界に片足すら突っ込んでいなかったでしょう。こんな興白くて奥深い知財の仕事を知らずに一生を終えるなんて、今では考えられません!

近年は、結婚や出産を機に退職される方もずいぶん少なくなり、M字カーブの底もだいぶ浅くなってきているとのこと。それでも、女性が仕事を続ける上で超えなくてはならないハードルの数は残念ながらそれほど変わっていないように思えます(実際私

自身も、3人の子を育てながら働き続けるのは、楽しいことばかりではありませんでした)。壁にぶつかったとき、必ずしも真正面から立ち向かわなくても、時には寄り道や廻り道をするのも悪くないのではないのでしょうか。人生は一度きりでも、ベストアンサーは1つとは限りません。別の道に行くことで新しい出会いや発見もあることでしょう。

一などと、自分に都合のよい言い訳をしながら、好き勝手に寄り道ばかりしてきましたが、終わりよければすべてよし、と言えるように、今は額に汗して怪文書、もとい、明細書を書いています。



ペットと私

奥田百子 (無名会)

「ペットと私」なんてありきたりなタイトルであり、きっとよくブログで紹介されるような、写真入りのペットの観察日記を想像されるであろう。

確かに以下の文章は、私と家族、そして猫2匹の話である。しかし飼い猫は残念ながら現在は1匹となってしまった。もう1匹は昨年末に亡くなったからである。これは私の悲しさを伝えるための文章ではなく、ペットと長年暮らすことでペットが家族の一員となり、人間に近い感情を有し、人間もペットを家族の一員として認識するようになることを伝えるための文章である。

「ペットが死んで悲しい」といっても、多くの場合は理解されない。私もペットを亡くすまでは、ペットを亡くして鬱になる人までいると聞いても、にわかには信じていなかった。大変申し訳ないが、「感情的になっているだけ」「誇張していつているだけ」だと思っていた。夫が以前、大切なペット(犬)が亡くなりそうだとということで、事務所を1週間休んで帰省したと聞いたときは、驚くばかりであった。

しかし、15年間家の中で放し飼いにしていた猫(名前：ピンク)が亡くなったときは、心底悲しかった。ピンクは猫の平均寿命であるちょうど15歳まで生きた。ピンクの死はあまりにも突然やってきた。

ピンクの死

亡くなる数か月前から、認知症と思われる行動が見え始めた。この認知症も突然やってきた。私があるウェブセミナーで2時間の講義を終え、ほっとしてリビングに行くと、そこでピンクが不可解な行動をとっていた。猫が排泄する「猫砂」の入った容器の中で、ピンクが寝そべっていたのである。猫を飼っている人であればおわかりであろうが、これはかなり不可解な行動である。これが認知の始まりであった。

ピンクは徐々に弱まっていった。今こうして文章を書いていても、思い出すのが「つらい」。風呂場について水を飲んで妙な鳴き声を上げたり、亡くなる数週間前は足を引きずるようになり、ほとんど歩けなくなった。

猫は死期が近づくと、暗くて冷たい場所で眠りたがると聞いていたが、本当にその通りであった。この理由としては、①敵から身を守る体力が既がないため、この敵に対する防衛の必要がない冷たい場所に行く、②発熱しているため、体を冷やしたいという願望など諸説がある。

ピンクはクローゼットの冷たい床の上で何日も過ごすようになった。日に日に体力は弱まり、とうとう立ち上がることもできなくなった。餌の皿まで行くこともできなくなったので、クローゼットの下に餌を頻繁に持って行った。体を伸ばしてそれを食べるのがやっとであった。

とうとう食べる元気もなくなり、ほとんど寝て過ごすようになり、ときどきつつくと反応はするが、そのうち反応しなくなった。

今まで少しでも動いていた動物が全く動かなくなる。この悲しみは計り知れなかった。

しかし、悲しんでばかりもいられない。葬儀のことを考えなければならなかった。人間の死と全く同じである。素人の私たち家族はどうしてよいのかわからず、ここはプロにお任せすることとした。

「猫は家につく」

この言い習わしはまさにその通りである。うちのペットたちは家出したことが複数回あるが、最終的には家に戻ってきた。我が家はマンション住まいであり、同様の家が複数並んでいるにもかかわらず、猫たちは我が家に戻れるのである。これが猫の帰巢

本能であり、他の家と自分の家を見分ける能力があるらしい。

その代わりに、猫は人にはなつかず、気まぐれな動物である。心変わりしやすい女性と接しているようである。

対照的に「犬は人につく」といわれ、人にはなつくが、家出すると戻ってこられない場合が多い。私の実家でも逃げ出した犬は戻ってきたことがなかった。しかし、犬は人の膝に乗ってきたり、飼い主が帰ってくると、うれしくて「ワンワン」と鳴く。「忠犬ハチ公」の話は犬の性質をあまりにもよく表している。

猫は遠くから眺めるのがよい

猫は気まぐれであり、猫が人間に近づいてきたとしても、それはその人が愛しいからではなく、餌が欲しがっている場合がほとんどである。

餌を与えれば人間には用はなく、こちらを慕っていると思って抱っこでもしようものなら、すぐに飽きて腕の中で暴れ始める。猫は抱っこされるのが嫌いである。

したがって私が出した結論は、猫は人間の子どものように手をかけて育ててあげるのではなく、遠くから鑑賞するのが最もよい動物ということである。

ペットの葬儀

ペットの葬儀についてインターネットで調べた。驚くことに、そのような葬儀社が多数、ネット上には掲載されていた。

ネット上で評判の良かった(株)ジャパンペットセレモニー (<https://j-pet.jp/>) をお願いすることとした。電話すると翌日、我が家まで火葬用の車で来て、どこか適切な場所（人のいない海岸など）で火葬して下さるとのこと。世田谷から横浜まで来て下さり、火葬して2万円では申し訳ないくらいである。この会社では動物供養大祭り、月例法要なども行われているそうである。

葬儀社の方が来る翌日までに、最後のお世話としてできるだけのことをしてあげたいと思い、猫を箱に入れ、ありったけのアイス枕で冷やし、お花をお

供えした。

一晩、猫を玄関の冷たい場所に安置した。全く動かなくなった猫を見ながら、奇蹟が起こって猫が起き上ったらどんなに良いかと思っていたが、奇蹟は起きなかった。

もう1匹の遺された猫が不思議そうに箱の中に横たわっている猫を見ていた。いつもは仲の悪い2匹の猫同士であったが、全く動かない相棒のことが不思議なのであろう。

猫とのお別れ

翌日、葬儀社の方がペット火葬用車で到着なさった。喪服を着た女性が玄関で横たわったピンクに手を合わせて下さった。

いよいよピンクともお別れである。葬儀社の方に家に上がっていただき、打ち合わせをする。費用のこと、葬儀のコースと手順の確認。まるでお葬式の打ち合わせである。私としてはなるべくこの打ち合わせを長引かせたかった。ピンクを葬儀社の車まで運ぶ瞬間を先延ばしにしたかった。

うちの家族は意外にも冷淡であり、ピンクとのお別れだというのに、皆、出かけてしまっている。私だけが悲しい最期の瞬間を見届けるしかなかった。

打ち合わせも終わり、その時が来た。「ピンクちゃんを車まで運んでください」といわれ、冷たくなったピンクを箱ごと葬儀社の車まで運ぶ。そして、私はとうとう彼女（雌猫）を車の後部に置いた。思わず「ピンクちゃん」と叫んでしまった。ピンクとの



在りし日の我が家のペット（ロシアンブルー）

様々な思い出が記憶の中を駆け巡った。

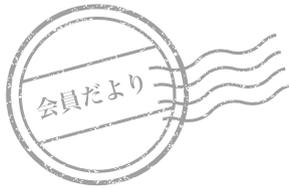
1時間ほど経過して、葬儀社の方から電話があり、火葬が終わったとのこと、ピンクはお骨になって戻ってきた。大変勝手ながら、その後のことはもう書き記したくない。

現在は、残された1匹の猫を一人っ子としてかわいがる毎日である。心なしか、この猫も寂しそうである。しかし、猫は言葉を話せないので、「あの猫はどこに行ったの？」などと聞いてくることも勿論ない。何か不思議なことが起こったと思っているのである。そのような思考もできないかもしれないが、餌も家族の愛情も独り(一匹?)占めしているので、以前より我がままになりつつある。

猫は面白い動物である。家族が喧嘩していれば悲しそうであるし、家族団らんを遠くからじっと見ているときもある。亡くなったピンクは、泣きじゃくる幼児の手をトントンと叩いてたしなめたこともある。猫は平和を好み、争いごとを嫌うので、家族は常に穏やかでなければならぬなど、猫を通して人間の在り方を随分学ばせてもらった。当分の間は、この遺されたもう一匹の猫の生態を観察しつつ、ペットライフを楽しんでいきたいと思う。



もう1匹の我が家のペット



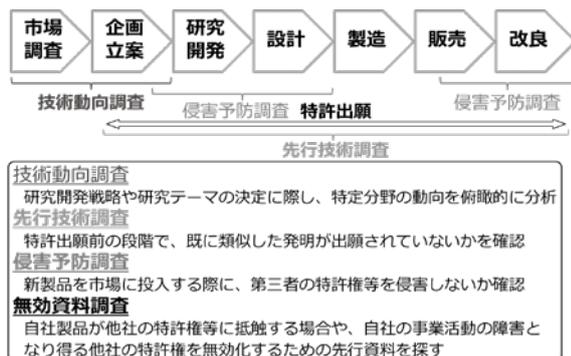
弁理士と特許調査

角 淵 由 英 (無名会)

私は、弁理士として出願権利化業務と特許調査業務を並行して行っています。

企業の事業活動において、特許調査は必要不可欠であり、クライアントから特許調査の相談を受けることがよくあります。ここでは、弁理士と特許調査について述べ、弁理士が特許調査業務を行うメリットについて述べます。

以下の図に、企業の事業活動のステージと特許調査についてまとめました。



技術動向調査は、研究開発戦略や研究テーマの決定に際し、特定分野の動向を俯瞰的に分析する調査です。技術動向調査は、資料収集調査、技術収集調査とも呼ばれ、市場調査の段階や新規企画立案に際して、これから行おうとしている研究開発に関連する従来技術が無いかを調べます。

先行技術調査は、特許出願前の段階で、既に類似した発明が出願されていないかを確認するための調査です。先行技術調査は、出願前調査とも呼ばれ、これから出願する発明の内容が、他者によって出願されて公知になっていないかを調べます。先行技術調査の結果に基づいて特許出願の内容をブラッシュアップすることもできます。

侵害予防調査は、新製品を市場に投入する際に、第三者の特許権等を侵害しないか確認するた

めの調査です。侵害予防調査はFTO (Freedom to operate) 調査、クリアランス調査とも呼ばれます。

侵害予防調査では、技術の内容と、その流れを正確に理解した上で、対象製品等が備える数多くの調査観点の的確に把握して、何を調査対象とし、何を調査対象としないかを定めることが大切です。

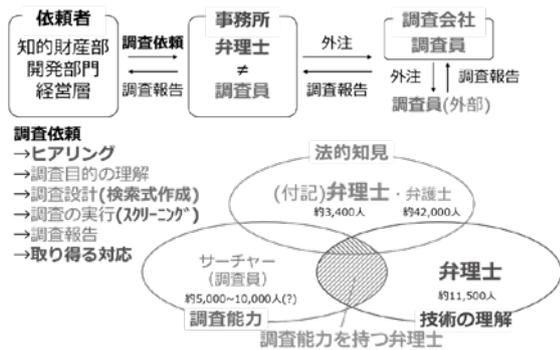
無効資料調査は、自社製品が他社の特許権等に抵触する場合や、自社の事業活動の障害となり得る他社の特許権を無効化するための先行資料を探すための調査です。進歩性の観点から、論理付けを行う際に有効となる記載、本願発明の課題にも着目することが肝心です。

私はクライアントからの依頼で、特許戦略の立案を目的として技術動向調査を行い取得すべき特許を俯瞰し、その結果に基づいて数十件の特許出願を行いました。出願前には先行技術調査を行って従来技術との差異が明確となるように提案を行いました。競合相手に権利化を妨害されぬよう早期審査で権利化をして特許網の構築に成功しました。また、権利化をした特許に関する製品の販売に際しては必ず侵害予防調査を行ってリスクを洗い出しました。そして、懸案となる特許については無効資料調査を行った上で、情報提供や異議申立を行っています。

侵害予防調査や無効資料調査を行うことで、権利化に適した明細書とはいかなるものか、潰れにくい特許とはどのようなものか、クレームドラフティングのコツ、使用する用語の良し悪しも知ることができます。

このように弁理士業務において、調査は極めて重要であり、一連の業務として担当することは非常に貴重な経験といえます。

以下の図に調査業務の一般的な流れを示します。



一般的な特許事務所や法律事務所では、依頼者(クライアント)から調査の依頼があると、弁理士が自ら調査を行うことは少なく、調査の外注を行うことが多いのが実情です。このような場合、調査依頼者からの依頼が調査担当者(調査員、サーチャー)に行き着くまでに段階を踏むことになってしまうため、調査の真の目的が上手く伝わらなくなったりして、解決すべき課題が解決しないことが生じ得ます。

最終的に取り得る対応を決定して起案をする弁理士が自ら調査を行わない場合、必要な情報が調査で得られなかったり、そもそも使える資料を見落としてしまったり、といったことが想定されます。

私の所属する事務所では、調査を弁理士が自ら行うか、調査員と綿密に連携することで、このような事態が生じないように留意しています。つまり、調査業務を弁理士と調査員で分業するのではなく弁理士が一気通貫で担当するか、少なくとも弁理士と調査員がチームとして協働することが、良い調査を行う上で重要であるといえます。

技術理解力を持つ弁理士が法的知見を活かして調査に携わることによって、調査により解決すべき課題を解決することにつながる可能性が高くなります。

私は、調査を行う弁理士として多くの事例を担当してきた中で、弁理士が自ら調査を行うか、依頼者(企業の知財部)と、調査担当者(調査会社)と、検討者(弁理士など)とが協働して(チームを組んで)、調査を実行することが、調査精度や最終的な判断の正確性の観点から好ましいと考えています。実際に、私は、調査担当者と検討者を兼ねて業務を行っており、その有用性・効果を実感しています。

調査の設計と実行は、システム構築における要件

定義とプログラミングの関係と似ているかもしれません。システム構築において、要件定義を行う者が自らプログラミングを行う必要は無く、特許調査においても調査設計をする者が必ずしも自ら調査を実行する必要はないと私は考えます。

一般的な弁理士は、調査について難しいという印象を抱いており、調査を自ら行うことが少ないです。しかし、調査が難しいというのはデータベースの使い方に慣れていないことや、特許分類に関する知識が乏しいだけで、調査の基本的な考え方は、それほど難しいものではありません。

重要であるのは、技術の理解力と法的な知見です。

弁理士が自ら調査を「行う」(理想)か、少なくとも調査を「設計(定義)」調査の要件定義(≠システム構築における要件定義とプログラミング)要件定義の無い調査でもアウトプットは出る(出てきてしまう)

特許調査は難しい?
データベースの使い方、特許分類に慣れていないだけ
根底にある考え方は難しくない
重要なのは技術の理解と法的な知見



種類別の弁理士が業務を行うメリット

- ・先行技術調査
技術の理解、発明の特徴の明確化、打合せの有効性向上、明細書作成
- ・侵害予防調査
調査対象の設定(仮想イ号 vs 想定される権利範囲) → クレーム作成と類似権利化の感覚、時代の流れと権利範囲、特徴点以外のポイントの把握
- ・無効資料調査
争点と必要な証拠、法的な主張(記載要件、技術常識)
書面作成における試行錯誤
- ・技術動向調査・調査研究
マクロ情報・トレンド・各社の戦略、ミクロな情報、知財以外の情報

弁理士が調査業務を行うメリットは多く、技術理解力に調査能力が加わることで、調査によって解決すべき課題を効果的かつ効率的に解決することができることを筆者は実感しています。ここに法的知見が加わることでクライアントに提供できる価値は非常に高いものとなります。

技術理解力をもつ法律家としての弁理士が行う調査とは、単なる特許調査とどのような点が異なるでしょうか。無効資料調査と侵害予防調査について、法的判断(法律適用)を行うための証拠収集である点で、弁理士が調査を行う意義があります。

弁理士が自ら、証拠収集の調査設計の段階から考え抜くことで、最終的な法的判断を適切に行うことができるような使える証拠(資料)はいかなるものであるのか逆算して仮説を構築して調査戦略を立案することになります。

無効資料調査では、進歩性における論理付けを考慮して必要な資料を想定して調査対象を探し出し、必要に応じてサポート要件や実施可能要件に関する

法的判断を行うための証拠収集

	証拠収集	事実認定	法的判断
無効資料調査	引用発明等に関する証拠	本件発明の認定 引用発明の認定	対比検討 進歩性判断 (論理付け)
侵害予防調査	リスクとなる 特許権等	イ号製品等の認定 発明の技術的範囲 の認定	対比検討 属否の判断

侵害予防調査や無効資料調査

→法的判断（法律適用）を行うための証拠収集

調査設計の段階から考え抜き、最終的な法的判断を適切に行うことができる使える証拠(資料)を逆算して仮説を立てる

調査ツール(人工知能など)の性能が向上していくにつれ、使える証拠(資料)をどう探すのかではなく、何を探すのか(調査設計)、頭を使い「徹底的に考え抜く」ことがより一層重要になる

技術常識を見つけ出すといった証拠収集が有効です。

弁理士が普段から行っている発明を理解して、特徴的構成を抽出しクレームドラフティング（クレームの作成）を行う際の上位概念化・抽象化は、侵害予防調査において、対象製品等を理解して、特徴的な実施行為を抽出し検索式を作成する際の上位概念化・抽象化にある側面で類似するものです。つまり、侵害予防調査においては、発明の抽出、クレーム

の作成業務を行い、発明品からクレームが生まれる過程を経験している弁理士がその一翼を担うことが好ましいといえるのではないのでしょうか。

出願権利化等の弁理士業務に加え、法的知見を活かして知財に関する調査も多く扱っている経験を踏まえて執筆した著書、「侵害予防調査と無効資料調査のノウハウ～特許調査のセオリー～」(一般財団法人経済産業調査会)が発行されていますので、ご参考にして頂ければ幸いです。

